

「スパークールビス」が始まり、軽装で仕事をする環境省の職員。3日前、東京・霞が関



アロハ、ポロシャツOK

超クールビズ始まる

職場の節電のためクールビズ以上の軽装を促す「スパークールビズ」が週明けの3日、中央省庁など本格的に始まった。環境省は3季目の今年、女性にも通気性の良い服装、涼しげな髪形や化粧を提案している。



5月開始のクールビズでは認められていないアロハシャツやポロシャツ、スニーカーが9月末まで解禁された。ただ、東京は午前9時の気温が18・7度とやや肌寒い朝となり、官庁街では、出勤する男性職員の多くがノーネクタイで長袖のワイシャツの「クールビズ」姿だった。女性も普段と変わらないジャケットやブラウスを着た人が目立った。

ポロシャツで出勤した環境省の女性職員(41)は「今後は気温に応じて、メークや髪形を工夫したい」と笑顔を見せた。

「スパークールビズ」が始まり、軽装で仕事をする環境省の職員。3日前、東京・霞が関